

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令計画など	市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び鳴門市に通勤・通学する者。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市民及び鳴門市に通勤・通学する者の防災意識の啓発と高揚						
事業計画	27年度に何を計画していたか	9月1日に全市をあげた鳴門市総合防災訓練を実施するとともに、各地区自主防災会に訓練実施を働きかけ、防災意識の高揚を図る。 また、出前講座や徳島県立防災センターを活用し、防災知識の普及啓発を図るとともに、広報なんとや市公式ウェブサイト等の情報手段を活用し、市民に有益な情報を発信できるようテーマを吟味し、情報発信を行う。 さらに、各地域の実情に即した災害への対応や市が進めている防災対策について説明し、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」の実施を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		自主防災会避難訓練・防災啓発実施組織数	42	42	42	42	42	組織数

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	9月1日に全市をあげた鳴門市総合防災訓練を実施するとともに、各地区自主防災会に訓練実施を働きかけ、防災意識の高揚を図った。 また、出前講座や徳島県立防災センターを活用し、防災知識の普及啓発を図るとともに、広報なんとや市公式ウェブサイト等の情報手段を活用し、市民に有益な情報の情報発信を行った。 さらに、各地域の実情に即した災害への対応や市が進めている防災対策について説明し、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」を瀬戸地区で2回実施した。 (瀬戸公民館、島田幼稚園)						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	出前講座の回数	21	14	30	30	30	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標		自主防災会避難訓練・防災啓発実施組織数	39	40	—	—	—	組織数
		目標達成率(実績/目標)		95.2	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	81	81
		全体予算額	0	0	0	0	81	81
		決算額	0	0	0	0	60	60
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
		0.1	0.0		686		746	

【事務事業名：地震等災害対策普及啓発事業】
(千円)

年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度	
事業費推移	事業費	84	60	81	81	81
	うち一般財源	84	60	81	81	81
	人件費	688	686	686	686	686
	総事業費	772	746	767	767	767

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄	
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	自主防災組織の訓練・啓発等実施件数が増加しており、防災意識の高揚が図られたと考えられるため。
	効率性	B:概ね効率的だった	出前講座のメニューを、災害事象毎に分けて実施するなど、より効果的・効率的な啓発の手法を検討する余地があるため。
②成果に対する評価	指標名	自主防災会避難訓練・防災啓発実施組織数	目標には到達しなかったためB評価とした。
	目標	42 組織数	
	実績	40 組織数	
	評価	B:概ね目標を達成できた	
③総合的な評価	B	目標には到達しなかったためB評価とした。	

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域によって防災に対する意識や被害想定も異なることから、各地域の実情を把握し、地域の実情や特色を考慮した啓発活動の実施が課題である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	従来の出前講座や情報発信等の啓発活動に加え、各地域の実情に即した災害への対応や市が進めている防災対策について説明し、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」を引き続き実施する。			
	平成29年度	従来の出前講座や情報発信等の啓発活動に加え、各地域の実情に即した災害への対応や市が進めている防災対策について説明し、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」を引き続き実施する。			